

一般社団法人「健康な食事・食環境」コンソーシアム

第1回認証審査会議事要録

日時：2023年7月2日（日）16:00～18:00

場所：女子栄養大学駒込キャンパス3号館 第一会議室/Zoom（ハイブリッド出席型）

出席者：

理事 武見ゆかり（代表理事） 市川陽子（副代表理事）
赤松利恵（理事） 串田修（理事） 狩野恵美子（理事） 黒谷佳代（理事）

監事 土橋卓也

委員 小切間美保（日本栄養改善学会） 濱田千雅（健康経営研究会）

早瀬仁美（日本高血圧学会） 梅澤光政（日本公衆衛生学会）

寺内康夫（日本糖尿病学会） 津下一代（日本肥満学会）

小熊祐子（日本健康教育学会） 長井美穂（日本腎臓学会）

松井貞子（日本動脈硬化学会） 笛木賢治（日本補綴歯科学会）

武藤倫弘（日本がん予防学会）

オブザーバー 林 芙美（運営委員）

事務局 土屋 文 猪瀬多巴江

欠席者：田丸淳子（理事）

1. 開会：出席者自己紹介の後、議事に入った。

議長は代表理事 武見ゆかりが務めた。

2. 第7回応募事業者認証審査 応募状況及び技術審査結果について（報告）

	応募件数	本審査件数	内、審査料 免除申請	認証★数（予定）		
				★	★★	★★★
計	50	50	7/50 (14.0%)	10	28	12
外食部門	7	7	3/7 (42.9%)	1	6	0
中食部門	18	18	4/18 (22.2%)	5	12	1
給食部門	25	25	0/25 (0.0%)	4	10	11

外食・中食部門について、技術審査担当者（串田委員）より説明がなされた。

応募件数は、外食部門は、昨年より半数以下に減少、中食部門は例年通りであった。コロナ禍の影響もあり、外食部門よりも中食部門が増えた傾向にある。減免申請は外食部門は42.9%、中食部門は22.2%であった。中食部門の審査に関して、早瀬委員より、pH調整剤の利用を考慮し、計算値と分析値の扱いに検討が必要との意見があり、

今後の検討課題とした。

次に、給食部門について技術審査担当者（市川委員）より説明がなされた。応募数は昨年の半数の 50 件であった。減免申請はなかった。応募のうち 1 件の審議について説明がなされ議論された。該当事業者は「食堂に面している場所に喫煙所があり、厚生労働省が定める「受動喫煙防止対策」を実施しているが、スマートミールの認証基準（必須項目 7）「店内禁煙」に合致していないため、本認証審査において審査を求めた。結論として現行で厚生労働省が定める対策が行われていることを認め、今回は「認証可」とし、次回の更新（2 年後）までに喫煙場所を屋外等に移動する等の改善を事業者へ提案することになった。

3. 2023 年度更新審査（第 5 回・4 回・3 回・2 回認証事業者） 更新状況について（報告）
各部門の更新状況について技術審査委員より以下の報告がなされた。

	更新対象	更新 (更新率)	内、審査料免除 件数	詳細	
外 食 部 門	計	48	37(77.1%)	7(18.9%)	
	第 2・3 回認証 (2 回目更新)	23	17(73.9%)	3(17.6%)	11 (48-37) 件のうち、更新しない 9 件、不明 2 件
	第 5 回認証	25	20(80.0%)	4(20.0%)	
中 食 部 門	計	30	23(76.7%)	3(13.0%)	
	第 2・3 回認証 (2 回目更新)	9	7(77.8%)	0(0.0%)	7 (30-23) 件のうち、更新しない 5 件、不明 2 件
	第 5 回認証	21	16(76.2%)	3(18.8%)	
給 食 部 門	計	234	157(67.1%)	0(0.0%)	
	第 1・2・3 回認証 (2 回目更新)	130	78(60.0%)	0(0.0%)	77 (234-157) 件のうち、更新しない 33 件、一時停止 7 件、不明 37 件
	第 4・5 回認証	104	79(80.0%)	0(0.0%)	

外食・中食部門は、例年どおりの更新率であった。事務局から丁寧に更新手続きのフォローを行うことにより更新率を 8 割弱に保っている。外食部門のうち 2 件は★数に変更となるため、審議を行い認証された。

給食部門は「更新しない」・「不明」が多く見られた。その要因は「不明」では、受託給食会社の担当者が変更になって引継ぎがなされていない、連絡先が変更になっていることが考えられた。給食部門のうち 4 件は★数に変更となるため、審査を行い認証された。

4. 認証基準の見直し・追加について（報告）

厚生労働科学研究「『健康な食事』の基準の再評価と基準に沿った食事の調理・選択

に応じた活用支援ガイドの開発」研究成果の概要について、研究代表者である林芙美女子栄養大学准教授より報告がなされた。提示された「健康な食事」の基準の扱いについては、運営委員会にて今後の検討課題とすることとなった。

以上